

関東コイルセンター工業会

出席者

藤澤鐵雄 会長 (藤澤鋼板社長)

河田宏造 副会長 (スチールセンター社長)

遠藤重康 副会長 (和信産業社長)

新井憲明 副会長 (マテックス社長)

常に高付加価値を追求



遠藤 重康氏

「工業会が60年、70年、そして100年と永続していけるよう、コイルセンター業界の発展を祈念して、後進にメッセージを。」

「この50年という長い期間もあつたが、会員数が減ったとはいえ、業界が生き残っているというのは、世の中に必要とされていることの証だと思ふ。今までそうしてき

「素材の革命といふものが、だんだん身近なものになりつつある。将来への備えを考えると、鉄を扱うプロとしての役割を担っていて、高炉メーカーさんが鉄を使うお客さまと直接やり取りする」というケースは一部であり、われわれと会話をすることの方が多

「意見交換ができる。皆さん、苦労されているがゆえに、面倒見がよい。私も随分助けられた。この貴重な集まりを大切にしたい」

「遠藤「われわれは、アイバルであり、仲間である。この業界の途絶えさせないために、これから協業も有ると思う。今後はプレス加工や板金加工も同じようにコイルセンター側の仕事になっていく可能性もある。いかにか付加価値を付けていくかというのが共通の課題となってくると思うが、どこかで必要に迫られる局面が出てくるかもしれない」

毛細血管の機能に特化



新井 憲明氏

関東コイルセンター工業会の歩み

66年	「関東コイル鋼板工業会」結成総会 工場見学会を初開催
67年	関西スリッター工業協会、東海SFI工業会と共に「全国スリット・レベラー連合会」を結成
73年	「関東コイルセンター工業会」に改称
75年	経営者懇談会を初開催
76年	創立10周年記念総会を鉄鋼会館で開催
81年	「全国コイルセンター工業組合」設立
86年	創立20周年記念祝賀会を鉄鋼会館で開催。記念誌を刊行
91年	創立25周年記念総会を伊豆長岡・三養荘で開催
96年	創立30周年記念総会をホテルオークラ別館で開催
00年	吉本興業・木村正雄事務の講演会をホテルオークラで開催
01年	EDIセミナーを開催
02年	ジャーナリスト・田原総一郎氏の講演会を鉄鋼会館で開催
03年	毎日新聞・岸井成格編集委員の講演会を鉄鋼会館で開催
06年	小集団活動発表交流会を初開催 創立40周年記念パーティーをマンダリン・オリエンタル東京で開催 震災BCP研修会を開催
07年	IT化勉強会を開催
08年	女性のための講演と製鉄所見学会を初開催
09年	鉄鋼流通3団体で雇用調整助成金説明会を共催
11年	東日本大震災を受け、臨時経営者懇談会を開催 災害対策研修会を開催
13年	製鉄所見学と安全体感講習会を初開催
17年	設備保全セミナーの年間講座を初開催 創立50周年記念パーティーを日本工業倶楽部で開催

創立50周年おめでとうございます。私自身も関東コイルセンター工業会の会長を以前務め、現在も役員の一員として活動に参画しております。長くこの工業会の活動が続いていることは大変喜ばしいことと思ふ。

自動車や電化製品などの各種産業は薄板類を使い、日本の高度成長を成し遂げていきました。その中で鉄鋼メーカーは大量生産の途を作り上げ、それに呼応してコイルセンターという流通加工分野で



全国コイルセンター工業組合 鈴木貴士理事長

今後もともに手携え

革新的な形態が生まれました。当会が薄板類の国内需要の大きな割合を占める関東という地域にあって、産業界と深く結びつき、今日の確固とした地位を築いてきたことは会員それぞれに断続的な努力の賜物と存じます。

長きにわたる工業会の活動を通じ、会員各社はお互いを理解し、信頼を培ってこられました。その結果生まれた風通しの良さも当会の誇るべき財産のひとつとも言えます。全国コイルセンター工業組合の重要なパートナーとして、今後も共に手を携えて、コイルセンター業界の発展に「尽力」を傾けることを祈って、50周年のお祝いとさせていただきます。

祝 辞



東海コイルセンター工業会 小河通治会長

業界で重要な役割を

関東コイルセンター工業会の創立50周年、誠におめでとうございませう。無事、本日をお迎えられたことは、同慶の至りと存じます。

貴会の設立された年の1966年(昭和41年)からの213年は、自動車業界、鉄鋼メーカー、商社などで大きな合併があった時期で、今から考えますと世の中の大きな転換期の始まりだったように思ふ。それから50年、オイルショック、

祝 辞



関西コイルセンター工業会 北雅久会長

全国への発信力期待

関東コイルセンター工業会創立50周年、おめでとうございませう。全国にコイルセンター業界の地区団体として、3つの工業会が組織されており、歴史を振り返りますと貴工業会は1966年に、その3年前に発足した私たちが関西、そして東海に続き「トリ」を務める形で創立され、その後の全国コイルセンター工業組合の発足と発展にも大きな役割を果たしていただきました。私たちは帯給、安全総務など業界共通の重点課題に取り組み、地区ごとに特色ある活動を展開しています。中でも首都圏を擁する関東は、中央倉庫や鉄鋼メーカーをはじめ日本経済の中心部であり、全国への発信力を発揮し、各地区をけん引する役割が期待されております。

半世紀にわたり、先人たちの築かれた歴史に敬意を表し、コイルセンター業界の飛躍発展に貢献する活動を、絶え間なく進めることが大切と考えております。藤澤会長を先頭に元気に、力強く業界を引っ張っていただきたいと思ふ。

貴工業会の今後ますますの発展をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。